

日本医学放射線学会
第 155 回中部地方会

日本核医学会
第 78 回中部地方会

日本 IVR 学会
第 36 回中部・第 35 回関西
合同地方会



会場 愛知県がんセンター中央病院 国際医学交流センター

日本 IVR 学会第 36 回中部・第 35 回関西合同地方会

平成 26 年 2 月 1 日 (土) 9:10 - 17:47 (メインホール)
9:10 - 11:53 (大会議室)

日本核医学会第 78 回中部地方会

平成 26 年 2 月 1 日 (土) 13:10 - 15:10 (大会議室)

日本医学放射線学会第 155 回中部地方会

平成 26 年 2 月 1 日 (土) 15:15 - 16:19 (大会議室)
平成 26 年 2 月 2 日 (日) 8:50 - 13:06 (メインホール)
8:50 - 13:22 (大会議室)

当番世話人

日本 IVR 学会第 36 回中部・第 35 回関西合同地方会

愛知県がんセンター中央病院 放射線診断 IVR 部 稲葉 吉隆

日本核医学会第 78 回中部地方会 国立長寿医療研究センター 放射線診療部 伊藤 健吾

日本医学放射線学会第 155 回中部地方会 愛知県がんセンター中央病院 放射線治療部 古平 毅

事務局

(IVR) 愛知県がんセンター中央病院 放射線診断 IVR 部

〒464-8681 愛知県名古屋市千種区鹿子殿 1-1

Tel: 052-764-2966 (直通) FAX: 052-764-2966 E-mail: chubukansai-ivr2014@aichi-cc.jp

(日医放・核) 愛知県がんセンター中央病院 放射線治療部

〒464-8681 愛知県名古屋市千種区鹿子殿 1-1

Tel: 052-762-6111 (代表) FAX 052-763-5233 E-mail: jrs155@aichi-cc.jp

目次

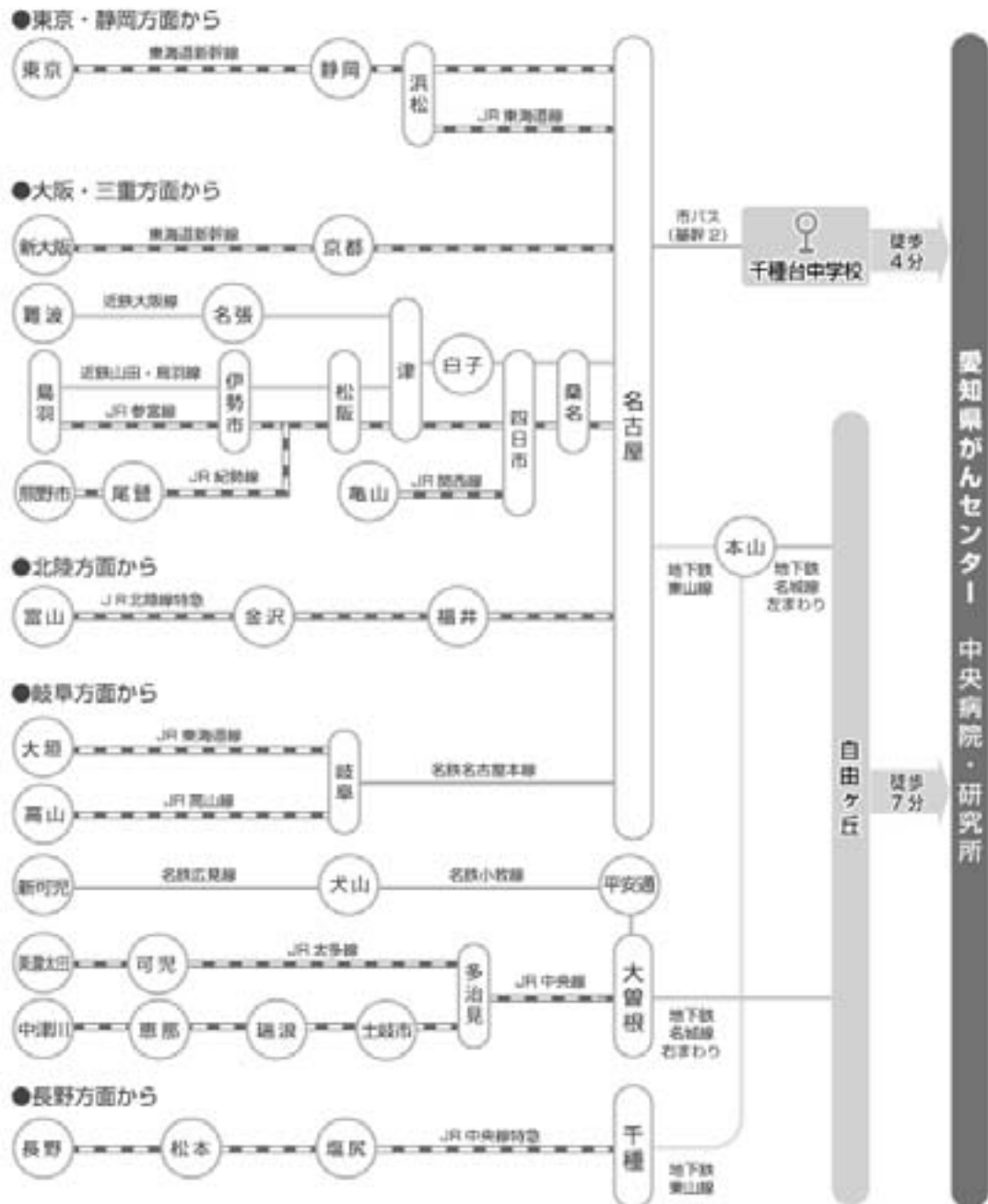
会場への交通案内	3
会場(国際医学交流センター)案内	5
発表に関するお願いとお知らせ	6
日程表	8

プログラム

日本 IVR 学会第 36 回中部・第 35 回関西合同地方会	9
日本核医学会第 78 回中部地方会	23
日本医学放射線学会第 155 回中部地方会	26
学会協賛・広告掲載企業一覧	41

会場へのアクセス

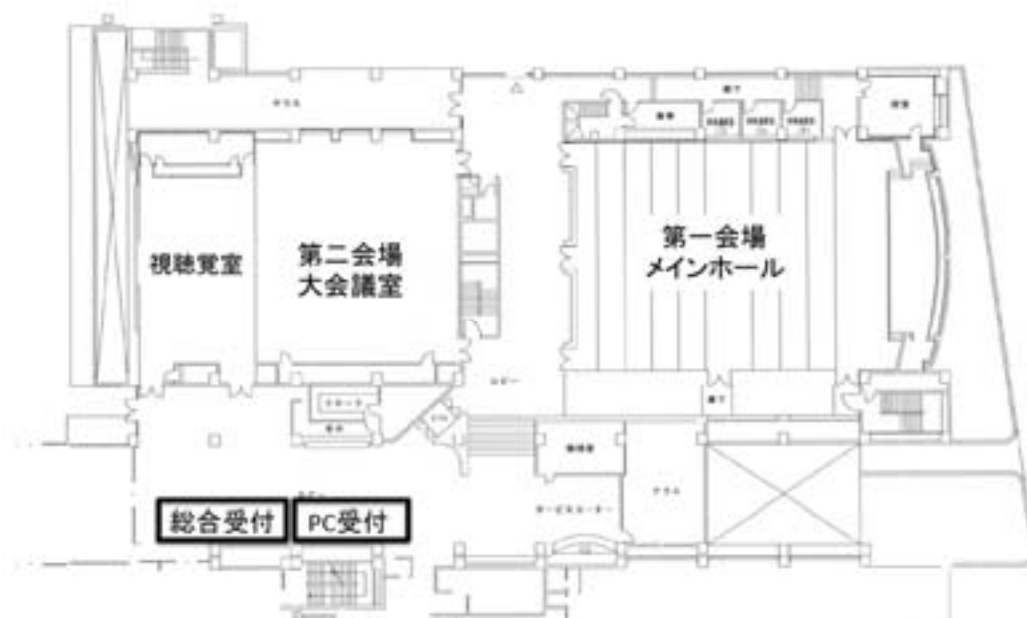
各地からのアクセス(県外・公共交通機関)





公共交通機関をご利用の場合には上記経路をご参照願います。

会場案内図



核医学会地方会世話人会会場：外来化療センター教育研修室

(一度会場を出られてから化学療法センター棟入口よりお入りください)



発表に関するお願いとお知らせ

1. 地方会ご出席の先生方へのお願い

参加費として各地方会ごとに1,000円を徴収させていただきます。

受付にて同封の各地方会参加票をご提出いただき、学会出席証明書をお受取りください。日本医学放射線学会中部地方会では「会員ICカード」で単位取得登録が可能です。「会員ICカード」を忘れずにご持参ください。持参されない場合は参加登録票を発行いたします。病院敷地内は全面禁煙となっております。ご協力お願いいたします。会場および近辺は昼食をとれる場所が大変少なくなっております。大変ご不便をおかけいたしますがご理解ご協力の程お願いいたします。(なお、2月1日開催の日本IVR学会中部・関西合同地方会ではランチセミナーを開催いたします。)

2. ご発表の先生方へのお願い

ご口演の時間は

日本IVR学会中部・関西合同地方会	一般演題	発表6分、討論2分
	症例報告	発表5分、討論2分
日本核医学会中部地方会		発表6分、討論2分
日本医学放射線学会中部地方会		発表6分、討論2分

上記の時間を厳守でお願いいたします。

発表データの入ったご自身のノートパソコン本体の持込みでの発表をお願いいたします。

持込まれたパソコンをプロジェクターに接続してスクリーンに映写しての発表になります。

バッテリー切れを防ぐため、電源アダプタも必ずご持参ください。

発表は壇上にディスプレイ、マウスとポインターを用意してありますので、ご自身でご操作ください。

3. 発表を円滑に行うためのご協力のお願い

【外部ディスプレイ出力について】

事前に外部ディスプレイ出力が可能であることを必ずご確認ください。

接続端子はD-sub ミニ15pinを原則とします。これ以外の出力端子を有するパソコン(Macintosh、小型Windows、タブレット端末)の場合にはかならず専用のVGA接続アダプタをご持参ください。会場では接続アダプタの準備はしておりません。

【受付・発表時の操作などについて】

発表の30分前までに必ずPC受付にて受付とデータの出力確認をお願いいたします。受付時、PC確認証をお受取りの上、必要事項をご記入ください。

受付スタッフがパソコンとディスプレイの接続後に先生ご自身で動作確認をお願いします。
確認終了後、ご自身にて PC 確認証をパソコンに添付してください。
パソコンのスクリーンセーバーやスリープ機能設定の解除を必ずお願いします。
なお、お持込みのパソコンは PC 受付での確認が終了しましたらご自身の発表の 3 演題前までに発表会場内までお持ちいただき、電源をいれて発表の最初の画面の立ち上げまでをお願いいたします。ご自身の発表の前の演者の発表が始まりましたら次演者席にお着きください。
発表終了後にパソコン、電源アダプタ等を必ずお持ち帰りください。

【抄録についてのお願い】

抄録の冒頭に地方会名を必ず記載してください。文字数は演題名・氏名を含め 400 字以内です。提出期限は平成 26 年 1 月 14 日です。学会時も受け付けますが、原則事前にメールで 日本医学放射線学会中部地方会および日本核医学会中部地方会は jrs155@aichi-cc.jp 宛へ、日本 IVR 学会中部・関西合同地方会は chubukansai-ivr2014@aichi-cc.jp 宛にお送り下さいますようご協力をお願いいたします。

【座長の先生方へのお願い】

担当セッションの開始 30 分前までに受付をお願いします。
ご自分の担当セッションの前の発表が始まりましたら、次座長席にご着席ください。
担当セッションの進行は時間厳守をお願いいたします。なお、座長席には時間表示がありませんので、お手数おかけいたしますがご対応のほど宜しくお願いいたします。

世話人会

1) 日本核医学会第 78 回中部地方会

日時 平成 26 年 2 月 1 日(土) 12:00~12:50

場所 愛知県がんセンター中央病院 外来化療センター 教育研修室

(国際医学交流センターの北側です。国際医学交流センターとの連絡通路はありません。)

2) 日本 IVR 学会第 36 回中部・第 35 回関西合同地方会

日時 平成 26 年 2 月 1 日(土) 12:10~13:00

場所 愛知県がんセンター中央病院 国際医学交流センター 大会議室

(中部地方会世話人は中途より視聴覚室へ移動となります。)

3) 日本医学放射線学会 第 155 回中部地方会

日時 平成 26 年 2 月 1 日(土) 18:00~18:40

場所 愛知県がんセンター中央病院 国際医学交流センター 視聴覚室

日程表

	第 1 会場(メインホール)	第 2 会場(大会議室)
2/1(土)	9:10 日本IVR学会 中部・関西合同地方会 11:45	9:10 日本IVR学会 中部・関西合同地方会 11:54
	12:10 ランチョンセミナー 13:00	
2/2(日)	13:20 日本IVR学会 中部・関西合同地方会 17:47	13:10 日本核医学会中部地方会 15:10 日本医学放射線学会 中部地方会 15:15 16:19
	8:50 日本医学放射線学会 中部地方会 13:06	8:50 日本医学放射線学会 中部地方会 13:22

日本 IVR 学会第 36 回中部・第 35 回関西合同地方会

2 月 1 日 (土) 第 1 会場 (メインホール)

セッション 1 実験 (9 時 10 分～9 時 42 分)

座長 友澤裕樹 (滋賀医科大学)

1. NBCA-リピオドール (NBCA-Lpd) 混合液によるカテーテルと血管の固着に関する検討 (6 分)
滋賀医科大学 放射線科 新田哲久、渡辺尚武、大田信一、友澤裕樹
土屋桂子、井上明星、高橋雅士、村田喜代史
2. ブタを用いた NBCA-lipiodol-ethanol 混合物 (NEL) 使用に伴う局所炎症の病理学的検討 (6 分)
和歌山県立医科大学 放射線科 田中文浩、河合信行、三田裕記、生駒 顕
小山貴生、佐藤大樹、竹内比奈子、中田耕平
南口博紀、中井資貴、園村哲郎、岸 和史
佐藤守男
3. 溶解型 RM パウダーによる肝動脈塞栓術の動物実験的検討
一粒子サイズによる比較 (6 分)
和歌山県立医科大学 放射線科 三田裕記、河合信行、竹内比奈子、生駒 顕
中田耕平、中井資貴、南口博紀、園村哲郎
佐藤守男
人体病理学 村田晋一、割栢健史、松崎生笛
4. 超選択的ビーズ TAE と RFA の併用療法: ビーズサイズと併用順序が与える影響 (6 分)
奈良県立医科大学 放射線科 田中利洋、吉川公彦
アーヘン大学 放・応用医療工学 Peter Isfort、Andreas Mahnken
Thomas Schmitz-Rode

セッション2 新規塞栓物質・硬化剤 (9時42分～10時37分)

座長 山本 聡 (兵庫医科大学)

5. Amplatzer Vascular Plug を用いた EVAR における内腸骨動脈塞栓術の初期成績 (6 分)
奈良県立医科大学 放射線科 岩越真一、市橋成夫、伊藤博文、田中利洋
穴井 洋、吉川公彦
6. Amplatzer Vascular Plug を用いた術前肝内門脈塞栓術の初期経験 (6 分)
奈良県立奈良病院 放射線科 井上正義、中川裕之
奈良県立医科大学 放射線科 田中利洋、西尾福英之、穴井 洋、吉川公彦
7. 肺動静脈奇形に対する Amplatzer Vascular Plug を用いた塞栓術の 5 例 (6 分)
兵庫医科大学 放射線科 山本 聡、小林 薫、稲尾由江、古川佳孝
阿知波左千子、加古泰一、廣田省三
8. 肺動静脈瘻に対するコイル塞栓術における AZUR の初期経験 (6 分)
名古屋市立大学 放射線科 下平政史、太田賢吾、武藤昌裕、河合辰哉
本田純一、橋爪卓也、芝本雄太
名古屋市立西部医療センター 放射線科 西川浩子
9. 電気式離脱コイル TARGET の使用経験－問題点とコツー (6 分)
藤田保健衛生大学 放射線科 花岡良太、伴野辰雄、赤松北斗、外山 宏
藤田保健衛生大学医療科学部 放射線学 加藤良一
10. 動静脈奇形に対するポリドカノールによる硬化療法と経動脈塞栓術の
併用療法の検討 (6 分)
愛知医科大学 放射線科 北川 晃、山本貴浩、松永 望、森川真也子
池田秀次、泉 雄一郎、萩原真清、亀井誠二
太田豊裕、石口恒男
11. 医原性仮性動脈瘤に対してバルーン併用 US ガイド下トロンビン注入療法を
施行した 1 例 (5 分)
名古屋市立大学 放射線科 本田純一、下平政史、太田賢吾、武藤昌裕
河合辰哉、橋爪卓也、芝本雄太
名古屋市立西部医療センター 放射線科 西川浩子

セッション3 門脈・脾 (10時37分～11時15分)

座長 西尾福英之(奈良県立医科大学)

12. 脾腎短絡路症例に対する分流術とBRT0の比較検討(6分)

和歌山県立医科大学 放射線科

南口博紀、小山貴生、竹内比奈子、佐藤大樹
田中文浩、生駒 顕、三田裕記、中田耕平
中井資貴、河合信行、園村哲郎、佐藤守男

13. 肝性脳症を呈した肝内門脈副腎静脈シャントに対するIVR

—non-fiberd コイルによる流量減量術—(6分)

兵庫医科大学 放射線科

加古泰一、河中祐介、山西真由子、古川佳孝
阿知波左千子、山本 聡、小林 薫、廣田省三

14. 門脈・肝静脈シャントによる肝性昏睡に対してAmplatzer Vascular Plugを用いた塞栓術が奏効した1例(5分)

奈良県立医科大学 放射線科

佐藤健司、西尾福英之、田中利洋、穴井 洋
前田新作、正田哲也、吉川公彦

15. 小児肝移植後門脈狭窄に起因する門脈圧亢進症に対し、経回腸静脈アプローチにて門脈ステント留置術と側副路塞栓術を施行した1例(5分)

大阪市立大学 放射線科

山本 晃、西田典史、城後篤志、寒川悦次
濱本晋一、竹下 徹、堺 幸正、松岡利幸
三木幸雄

小児外科

栄 由香里、林 宏昭、諸富嘉樹

小児科

趙 有季、徳原大介

16. 脾機能亢進に対する部分的脾動脈塞栓術：塞栓物質の種類および抗生剤動注の有無による比較(6分)

奈良県立医科大学 放射線科

正田哲也、田中利洋、穴井 洋、西尾福英之
佐藤健司、吉川公彦

奈良県立三室病院 放射線科

阪口 浩

済生会吹田病院 放射線科

中込将弘

四天王寺病院 放射線科

日高輝之

東大阪市立総合病院 放射線科

古市欣也

奈良県立奈良病院 放射線科

井上正義

愛知県がんセンター中央病院 放射線診断・IVR部

佐藤洋造、稲葉吉隆

セッション4 胆道・消化管 (11 時 15 分～11 時 45 分)

座長 南 哲弥 (金沢大学)

17. 悪性総胆管閉塞に対する経皮的カバードステント留置後の
胆泥閉塞例についての検討 (6 分)

厚生連高岡病院 放射線科

野畠浩司、川森康博、堀地 悌、関 宏恭
北川清秀

18. 胃癌手術時の総胆管損傷に対して IVR が奏功した 1 例 (5 分)

市立吹田市民病院 放射線科

三上恒治

19. 術後難治性胆汁漏に対してエタノール硬化療法を施行した 1 例 (5 分)

日本赤十字社和歌山医療センター 放射線科 渡部正雄、嶋田功太郎、大政 暁
尾谷智史、西尾直子、山本貴之、河村 晃
筒井一成

20. 経皮的胃瘻造設困難例における術後画像の検討 (6 分)

愛知県がんセンター中央病院 放射線診断・IVR 部 村田慎一、山浦秀和、川田紘資
加藤弥菜、鹿島正隆、佐藤洋造、稲葉吉隆

ランチョンセミナー (12 時 10 分～13 時 00 分)

座長 佐藤洋造 (愛知県がんセンター中央病院)

「内視鏡的インターベンション」

愛知県がんセンター中央病院 消化器内科 原 和生 先生

共催: バイエル薬品株式会社

セッション9 穿刺・アブレーション (13時20分～14時16分)
座長 山中隆嗣 (三重大大学)

44. 吸引型半自動生検針 (ステリカット®) の有用性 (6分)

関西医科大学附属滝井病院 放射線科 米虫 敦、菅野渉平、鈴木聡史、左野 明
池田耕士、宇都宮啓太、播磨洋子
関西医科大学附属枚方病院 血管造影 IVR 科 狩谷秀治、中谷 幸、吉田理絵
河野由美子、津野隆哉、谷川 昇
大阪市立大学大学院 工学研究科 米虫節夫

45. 躯幹深部の腫瘍穿刺のための体表絵文字マーキングの使用 (6分)

和歌山県立医科大学 放射線科 河合信行、小山貴生、竹内比奈子、佐藤大樹
野田泰孝、田中文浩、生駒 顕、三田裕記
中田耕平、中井資貴、南口博紀、園村哲郎
佐藤守男

46. Cone-beam CT をガイドとした経皮的穿刺法の基礎的検討 (6分)

愛知医科大学 放射線科 山本貴浩、北川 晃、松永 望、森川真也子
池田秀次、泉 雄一郎、萩原真清、亀井誠二
太田豊裕、石口恒男

47. 副腎悪性腫瘍に対する RFA の有効性の検討 (6分)

三重大学 IVR 科 長谷川貴章、山門亨一郎、中塚豊真、浦城淳二
山中隆嗣、藤森将志、中島 謙、杉野雄一
放射線科 佐久間 肇

48. 腎癌凍結療法：局所再発の検討 (6分)

三重大学 IVR 科 山中隆嗣、山門亨一郎、中塚豊真、浦城淳二
藤森将志、長谷川貴章、中島 謙、杉野雄一
放射線科 佐久間 肇

49. 粒子線治療不応悪性腫瘍に対する ablation 治療 (6分)

三重大学 IVR 科 中塚豊真、山門亨一郎、浦城淳二、山中隆嗣
藤森将志、長谷川貴章、中島 謙、杉野雄一
放射線科 佐久間 肇

50. CT 透視下手技における被曝防護手袋の有用性の評価 (6 分)

関西医科大学附属枚方病院 血管造影 IVR 科 中谷 幸、狩谷秀治、吉田理絵
河野由美子、菅 直木、谷川 昇
関西医科大学附属滝井病院 放射線科 米虫 敦

セッション 10 肝腫瘍 (14 時 16 分～15 時 16 分)

座長 加藤弥菜 (愛知県がんセンター中央病院)

51. 進行肝細胞癌に対する分子標的薬併用 intervention の治療成績 (6 分)

福井県済生会病院 放射線科 宮山士朗、山城正司、生野雅也、奥村健一朗
小林未来、菊池雄三、吉田政徳、永井愛子
内科 真田 拓、野ツ俣和夫、渡邊弘之、新 浩一
上田晃之、松田尚人、登谷大修、田中延善

52. TACE 不応・不能肝細胞癌に対する治療戦略 :

肝動注とソラフェニブの選択について (6 分)

奈良県立医科大学 放射線科 西尾福英之、田中利洋、穴井 洋、佐藤健司
前田新作、正田哲也、吉川公彦
奈良県立三室病院 放射線科 阪口 浩

53. DDP-H が奏効した Sorafenib 不応肝細胞癌の 1 例ー肝動注不能とは?ー (5 分)

静岡県立静岡がんセンター IVR 科 新槇 剛、森口理久、別宮絵美真

54. 40 μ m ビーズを用いた bland-TAE が奏効した早期肝細胞癌の 1 例 (5 分)

奈良県立医科大学 放射線科 前田新作、田中利洋、西尾福英之、正田哲也
佐藤健司、穴井 洋、吉川公彦
奈良県立三室病院 放射線科 阪口 浩

55. 肝細胞癌肺・縦隔転移に対する DDP-H を用いた気管支動脈化学塞栓療法 (6 分)

静岡県立静岡がんセンター IVR 科 別宮絵美真、新槇 剛、森口理久

56. VIPoma の肝転移に対して Bland-TAE が有効であった 1 例 (5 分)

大阪府立成人病センター 放射線診断科 西窪恵子、中澤哲郎、中西克之
大阪大学 放射線診断科 大須賀慶悟

57. 肝芽種の破裂に対し TAE を施行した小児の 1 例 (5 分)

京都府立医科大学	放射線科	寺山耕司、竹内義人、浅井俊輔、一条祐輔 清水大介、田中 治、山田 恵
	小児科	堂 淳子、栞原康通、家原知子、細井 創
	小児外科	文野誠久、田尻達郎

58. C 型慢性肝炎による肝細胞癌に対する経皮的動脈塞栓療法における

デクスメデトミジン（プレセデックス®）鎮静の安全性と実行可能性 (6 分)

関西医科大学附属滝井病院	放射線科	米虫 敦、鈴木聡史、菅野渉平、左野 明 池田耕士、宇都宮啓太、播磨洋子
関西医科大学附属枚方病院	血管造影 IVR 科	狩谷秀治、中谷 幸、吉田理絵 河野由美子、谷川 昇

セッション 11 血管塞栓術（腹部） (15 時 16 分～16 時 13 分)

座長 坂本憲昭（天理よろづ相談所病院）

59. 腹腔動脈解離に対するコイル塞栓術 (6 分)

三重大学	IVR 科	藤森将志、山門亨一郎、中塚豊真、浦城淳二 山中隆嗣、長谷川貴章、中島 謙、杉野雄一
	放射線科	佐久間 肇

60. 脾癌術後の仮性動脈瘤に対して総肝動脈塞栓を行った 2 例 (5 分)

日本赤十字社和歌山医療センター	放射線科	山本貴之、嶋田功太郎、大政 暁 尾谷智史、西尾直子、渡部正雄、河村 晃 筒井一成
-----------------	------	--

61. 被膜下出血に対する止血術後に肝梗塞を合併した 1 例 (5 分)

大阪労災病院	放射線科	前田宗宏、木村 廉、秦 明典、岸本陽督 川田 豊、塚口 功
	消化器内科	岡原 徹、吉原治正

62. バルーン閉塞下 NBCA 塞栓術 (B-Glue) が有用であった胆道出血に対する
緊急止血の 1 例 (5 分)
滋賀医科大学 放射線科 村上陽子、大田信一、岬 沙耶香、井上明星
森 里美、青木 健、友澤祐樹、渡辺尚武
大谷秀司、河野直明、新田哲久、村田喜代史
康生会武田病院 放射線科 廣瀬朋宏
63. グラフト感染に伴う背側腓動脈瘤に対し塞栓術を施行した
Marfan 症候群の 1 例 (5 分)
福井県済生会病院 放射線科 生野雅也、吉田未来、奥村健一朗、山城正司
宮山士朗
64. 脾動脈瘤に対するコイル塞栓術後に発症した急性腹症の 1 例 (5 分)
聖隷浜松病院 放射線科 片山元之、増井孝之、佐藤公彦、塚本 慶
水木建一
消化器内科 室久 剛
65. 腹部刺創による上下腸間膜動脈仮性瘤に対して塞栓術が奏功した 1 例 (5 分)
藤枝市立総合病院 放射線診断科 鹿子裕介、池田暁子、五十嵐達也
外科 真木治文、西山元啓、白川元昭
66. スtent 併用下コイル塞栓術を行った腸間膜動脈損傷の 1 例 (5 分)
兵庫県災害医療センター・神戸赤十字病院 放射線科 谷 龍一郎、小出 裕
上村尚文、大森美佳、酒井徹也、森 岳樹

セッション１２ 血管塞栓術（胸部・後腹膜・他） （16時13分～17時03分）

座長 谷掛雅人（京都市立病院）

67. 当院における非外傷性特発性後腹膜出血に対する動脈塞栓術の検討（6分）
神戸大学 放射線科・血管内治療センター 片山直人、祖父江慶太郎、Akhmadu Muradi
上嶋英介、岡田卓也、井戸口孝二、山口雅人
杉本幸司
68. 医源性腎被膜下出血に対して塞栓術を行った1例（5分）
兵庫県立姫路循環器病センター 放射線科 宮本直和、川崎竜太、木下めぐみ
神戸大学 放射線科・血管内治療センター 杉村和朗、杉本幸司
69. 腎血管筋脂肪腫に対する動脈塞栓時に血管損傷をきたした1例（5分）
富山大学 放射線科 富澤岳人、鳴戸規人、池田理栄、川部秀人
野口 京
70. 胸腔ドレーン留置による肺動脈穿通に対しIVRにて対処した1例（5分）
京都市立病院 放射線診断科 谷掛雅人、森澤信子、加藤綾子、藤本良太
早川克己
呼吸器外科 寺師卓哉、宮原 亮
洛和会音羽病院 放射線科 久保聡一
71. Swan-Ganz カテーテルによる肺動脈損傷に対してコイル塞栓術を施行した1例（5分）
大阪警察病院 放射線診断科 元津倫幸、西川 遼、森木健生、前田弘彰
西田義記
72. 塞栓術を行ったスワングアンツカテーテルによる肺仮性動脈瘤の2例（5分）
金沢大学 放射線科 南 哲弥、戸島史仁、折戸信暁、池野 宏
吉田耕太郎、小坂一斗、香田 渉、眞田順一郎
小林 聡、松井 修、蒲田敏文
73. 塞栓術が奏功した椎骨動静脈瘻の1例（5分）
愛知医科大学 放射線科 松永 望、泉 雄一郎、北川 晃、山本貴浩
森川真也子、池田秀次、萩原真清、亀井誠二
太田豊裕、石口恒男
脊椎脊髄センター 若尾典充

セッション 13 血管塞栓術（骨盤部） （17 時 03 分～17 時 47 分）

座長 下平政史（名古屋市立大学）

74. 当院における産科出血に対する IVR 施行例の検討（6 分）

名古屋市立西部医療センター 放射線診断科 西川浩子、佐々木 繁、北 大祐
白木法雄
中央放射線部 原 真咲

75. 当院における腸骨動脈バルーン留置に対する麻酔法（6 分）

聖隷浜松病院 麻酔科 入駒慎吾、小久保荘太郎
放射線科 塚本 慶、水木健一、片山元之、増井孝之

76. 選択的動脈塞栓術が奏功した外傷性持続勃起症の 1 例（5 分）

名古屋大学 放射線科 兵藤良太、鈴木耕次郎、石口裕章、駒田智大
森 芳峰、長縄慎二

77. 外傷後動脈性持続勃起症に対してスポンゼルによる超選択的塞栓術が成功した 2 症例（5 分）

大阪医科大学 放射線科 山本聖人、山本和宏、鳴海善文
泌尿器科 木山 賢、東 治人

78. 後天発生と考えられた子宮動静脈瘻に対し塞栓を施行した 1 例（5 分）

市立堺病院 放射線診断科 杉原英治、吉岡恵理、栗生明博、油谷健司
市立貝塚病院 放射線科 沢井ユカ
産婦人科 智多昌哉
りんくう総合医療センター 放射線科 合田晴一、櫻井康介

79. 子宮 AVF に対し塞栓術を施行した 2 例（5 分）

福井県立病院 放射線科 永井圭一、高田健次、服部由紀、山本 亨
吉川 淳
産婦人科 中出恭平、土田 達

2月1日（土） 第2会場（大会議室）

セッション5 胸部大動脈ステントグラフト （9時10分～9時38分）

座長 中井資貴（和歌山県立医科大学）

21. TEVARにおける in situ fenestration の2例（5分）

藤田保健衛生大学 放射線科	伴野辰雄、外山 宏
一宮西病院 心臓血管外科	金子 完
刈谷豊田総合病院 放射線科	北瀬正則

22. TEVAR 後2年で fabric tear をきたした1例（5分）

藤田保健衛生大学医療科学部 放射線学	加藤良一
藤田保健衛生大学 放射線科	伴野辰雄、花岡良太、赤松北斗、外山 宏
心臓血管外科	樋口義郎、服部浩治、高木 靖

23. Chimney graft technique 併用 Debranching TEVAR 後の perigraft gutter leak に対して NBCA-Lp 及びコイル塞栓術を施行した1例（5分）

和歌山県立医科大学 放射線科	生駒 顕、中井資貴、佐藤大樹、竹内比奈子
	田中文浩、三田裕記、中田耕平、南口博紀
	園村哲郎、佐藤守男
心臓血管外科	西村好晴、岡村吉隆

24. 解離性大動脈瘤破裂に対し、ステントグラフト内挿術後に偽腔をコイル塞栓した1例（5分）

三重大学 放射線診断科	東川貴俊、加藤憲幸、橋本孝司、茅野修二
-------------	---------------------

セッション6 腹部大動脈ステントグラフト （9時38分～10時14分）

座長 亀井誠二（愛知医科大学）

25. 大動脈十二指腸瘻から出血し、緊急 EVAR を施行した炎症性瘤の1例（5分）

住友病院 放射線科	山本浩詞、金森大悟
心臓血管外科	安宅啓二、田中陽介

26. 鈍的外傷に伴う下腸間膜動脈引き抜き損傷に対して大動脈ステントグラフトにて治療し得た1例（5分）
 兵庫県立淡路医療センター 放射線科 門場智也、魚谷健祐、春藤真紀、木下知恵子
 山崎愉子、濱中章洋、久島健之
 外科 江里口光太郎、杉本貴樹
 神戸大学 放射線科・血管内治療センター 山口雅人、杉本幸司
27. 経腰的大動脈瘤穿刺（Trans-Lumbar Access）による type II endoleak の NBCA-Lipiodol 塞栓を行った1例（5分）
 関西医科大学附属滝井病院 放射線科 米虫 敦、鈴木聡史、菅野渉平、左野 明
 池田耕士、宇都宮啓太、播磨洋子
 末梢血管外科 山尾 順、駒井宏好
 関西医科大学附属枚方病院 血管造影 IVR 科 狩谷秀治、中谷 幸、吉田理絵
 河野由美子、谷川 昇
28. 経皮的直接穿刺塞栓術にて治療した Slow filling type Endoleak 症例（6分）
 和歌山県立医科大学 放射線科 中井資貴、佐藤大樹、生駒 顕、竹内比奈子
 田中文浩、三田裕記、中田耕平、南口博紀
 園村哲郎、佐藤守男
29. EVAR 治療直後に脊髄梗塞を発症した腹部大動脈瘤の1例（5分）
 天理よろづ相談所病院 放射線部 堀之内宏樹、坂本憲昭、谷口尚範、楠 直明
 森 暢幸、菅 剛、延原正英、齋藤広美
 三田裕樹、横田悠介、中村匡希、野間恵之
 心臓血管外科 水野明宏、仁科 健、山中一朗

セッション7 静脈 （10時14分～10時58分）

座長 狩谷秀治（関西医科大学附属枚方病院）

30. 超選択的甲状腺静脈サンプリングにより機能性副甲状腺腺腫の局在が確認された1例（5分）
 安城更生病院 放射線科 馬越弘泰、松島正哉、加藤真希、宇佐見寿志
 岡江俊治

31. 斜位による鎖骨下静脈径への影響（鎖骨下静脈穿刺のための臨床研究）（6分）
 和歌山県立医科大学 放射線科 河合信行、小山貴生、竹内比奈子、佐藤大樹
 田中文浩、生駒 顕、三田裕記、中田耕平
 中井資貴、南口博紀、園村哲郎、佐藤守男
 聖志会渡辺病院 金川紘司、渡辺浩年
32. 体位変換により閉塞を生じた中心静脈リザーバーの1例（5分）
 関西医科大学附属枚方病院 血管造影 IVR 科 菅 直木、狩谷秀治、中谷 幸
 吉田理絵、河野由美子、谷川 昇
 関西医科大学附属滝井病院 放射線科 米虫 敦
33. CV port 設置後に介入を必要とした症例に関する検討（6分）
 愛知県がんセンター中央病院 放射線診断・IVR 部 川田紘資、稲葉吉隆、山浦秀和
 佐藤洋造、加藤弥菜、鹿島正隆、村田慎一
34. Optional IVC filter 抜去に難渋した2例（5分）
 奈良県立医科大学 放射線科 穴井 洋、田中利洋、西尾福英之、伊藤博文
 市橋成夫、前田新作、佐藤健司、正田哲也
 岩越真一、吉川公彦
35. ALN IVC フィルター回収用デバイスが有用であった右心房内コイル逸脱の1例（5分）
 京都府立医科大学 放射線科 田中 治、三浦寛司、松浦永明、中迫由里
 浅井俊輔、一条祐輔、寺山耕司、竹内義人
 循環器内科 松室明義

セッション8 動脈（10時58分～11時54分）

座長 花岡良太（藤田保健衛生大学）

36. 脾頭十二指腸切除後に肝・脾梗塞を合併した腹腔動脈狭窄の1例（5分）
 神戸市立医療センター中央市民病院 放射線診断科 上田浩之、田川 弘、伊藤 亨
37. 腎動脈解離に対しステント留置を施行した2例（5分）
 福井県立病院 放射線科 永井圭一、高田健次、服部由紀、山本 亨
 吉川 淳
 心臓血管外科 西田 聡

38. 右遺残坐骨動脈瘤に対しステントグラフトを用いて治療した1例（5分）
 和歌山県立医科大学 放射線科 佐藤大樹、中井資貴、生駒 顕、竹内比奈子
 三田裕記、中田耕平、南口博紀、園村哲郎
 佐藤守男
 心臓血管外科 西村好晴、岡村吉隆
39. Neuroform を用いて塞栓術を行なった BA-SCA 動脈瘤の1例（5分）
 岡崎市民病院 放射線科 渡辺賢一
 脳神経外科 錦古里武志
40. 第1肋骨異常による胸郭出口症候群に伴う急性動脈閉塞に対して、
 血栓除去およびステント留置を行った1例（5分）
 大阪市立大学 放射線科 立川裕之、堺 幸正、寒川悦次、城後篤志
 濱本晋一、山本 晃、竹下 徹、西田典史
 松岡利幸、三木幸雄
 心臓血管外科 宮部 誠、尾藤康行
 整形外科 岡田充弘
41. 左肩関節脱臼整復後に発見された腋窩動脈仮性動脈瘤に対し、
 カバードステント留置術を施行した1例（5分）
 福井県済生会病院 放射線科 奥村健一郎、生野雅也、吉田未来、山城正司
 宮山士朗
 外科 寺田卓郎
42. 巨細胞動脈炎の関与が疑われる両側上腕動脈病変に対し PTA を施行した2例（5分）
 神戸大学 放射線科・血管内治療センター 上嶋英介、山口雅人、井戸口孝二
 祖父江慶太郎、岡田卓也、片山直人
 Akhmadu Muradi、杉本幸司
43. P by-pass Graft に急性閉塞を生じ、2 期的治療により患肢を
 温存できた1症例（5分）
 静岡市立清水病院 放射線診断科 精松沙織
 光生会病院 放射線科 橋本 毅

日本核医学会第 78 回中部地方会

2 月 1 日（土） 第 2 会場（大会議室）

13 時 10 分 開会の辞、世話人会報告

セッション 1 心臓 （13 時 15 分～13 時 47 分）

座長 加藤克彦（名古屋大学）

1. 高年齢層における負荷前後の心筋収縮の同時性

名古屋大学 医療技術

前田尚利

名古屋第二赤十字病院

新美孝永、七里 守、杉本美津夫

2. 心筋 MIBG 検査における心縦隔比と SPECT 欠損スコアの関係

金沢大学 核医学診療科

若林大志、中嶋憲一、松尾信郎、滝 淳一

絹谷清剛

金沢医科大学 物理学

奥田光一

3. アンモニア PET 心筋血流検査における安静と負荷検査の時間間隔についての検討

名古屋放射線診断クリニック

小島明洋、大島 覚、玉井伸一、田端伸旭

小林敏樹、西尾正美

4. 慢性維持透析患者における薬剤負荷アンモニア PET 心筋血流検査の有用性

名古屋放射線診断クリニック

大島 覚、西尾正美、小島明洋、玉井伸一

小林敏樹、田端伸旭

名古屋共立病院

堀 浩、青山 徹、鴨井大典、榊原貴司

梅本紀夫、春日弘毅、川原弘久

名古屋大学 循環器内科

室原豊明

セッション2 基礎・脳 (13時47分～14時27分)

座長 田所匡典(藤田保健衛生大学)

5. SPECT/CT 複合装置を用いた CT 減弱補正による ^{89}Sr 制動放射線 SPECT の
骨転移検出率の改善性評価
藤田保健衛生大学 放射線科 太田誠一郎、菊川 薫、外山 宏
医療科学部 放射線科 夏目貴弘、市原 隆
病院放射線部 核医学検査室 宇野正樹、加藤正基、石黒雅伸
6. SPECT/CT 装置による ^{123}I -IMP 脳血流量定量画像の標準化—ファントム実験による評価—
藤田保健衛生大学病院 放射線部 辻本正和、宇野正樹、加藤正基、石黒雅伸
医療科学部 放射線学科 夏目貴弘、市原 隆
放射線科 太田誠一郎、木澤 剛、乾 好貴、外山 宏
7. ドーパミントランスポーターイメージングの技術的検討
—機種別の収集条件/結果表示—
国立長寿医療研究センター 放射線診療部 深谷直彦、加藤隆司、伊藤健吾
安城更生病院 放射線技術科 市川敦子
静岡県立総合病院 放射線技術室 福井 淳、土屋知紹、松本大樹
聖霊三方原病院 画像診断部 長屋重幸
名古屋第二赤十字病院 医療技術部 放射線科 杉本美津夫、伊藤克也、才賀 治
猪岡由行
名古屋大学医学部付属病院 医療技術部 放射線部門 阿部真治、藤田尚利
名古屋大学 医療技術 加藤克彦
8. 頭蓋内非腫瘍性病変の C-11 メチオニン PET
名古屋大学 放射線科 伊藤信嗣、二橋尚志、岩野信吾、長縄慎二
脳神経外科 藤井正純、若林俊彦
医療技術 加藤克彦
9. PiB PET における軽微な集積を判定するカットオフ値の検討
国立長寿医療研究センター 脳機能画像診断開発部 加藤隆司、中村昭範、岩田香織
藤原 謙、新畑 豊、MULNIAD study group
放射線診療部 深谷直彦、伊藤健吾

セッション3 腫瘍・その他 (14 時 27 分～15 時 07 分)

座長 西尾正美 (名古屋放射線診断クリニック)

10. ^{99m}Tc - MIBI シンチグラフィの画像所見が異所性副甲状腺腺腫と鑑別を要した
胸腺腫の1例
浜松医科大学 放射線科 林 真帆、那須初子、廣瀬裕子、汪 洋
杉山将隆、宇佐美諭、兵頭直子、伊東洋平
牛尾貴輔、平井 雪、芳澤暢子、山下修平
神谷実佳、竹原康雄、阪原晴海
11. 食道癌術後乳び胸に対し SPECT/CT が漏出部位の同定に有効であった1症例
富山大学 放射線科 米山達也、川部秀人、富沢岳人、神前裕一
野村邦紀、野口 京
12. F-18-FDG PET にて偶発的に指摘した無痛性亜急性甲状腺炎の1例
金沢医科大学 放射線科 道合万里子、渡邊直人、高橋知子、利波久雄
乳腺内分泌外科 森岡絵美、中野泰治
病理診断科 福島万奈
13. ^{18}F -FDG-PET/CT が慢性リンパ性白血病の Richter's transformation の
診断に有用であった1例
木沢記念病院 放射線科 金子 揚、西堀弘記
岐阜大学 放射線科 星 博昭、兼松雅之
木曽川市民病院 内科 馬淵量子
岐阜大学 医学部 免疫病理学 後藤尚絵
14. Interim FDG-PET による悪性リンパ腫の予後予測
福井大学 医学部 放射線学科 都司和伸、土田龍郎、木村浩彦
血液腫瘍内科 岸 慎治
高エネルギー医学研究センター 岡沢秀彦

15 時 07 分 閉会の辞

日本医学放射線学会第 155 回中部地方会

2 月 1 日（土） 第 2 会場（大会議室）

セッション 1 診断 頭頸部 （15 時 15 分～15 時 55 分）

座長 加藤博基（岐阜大学）

1. 良好な治療効果を得た鼻前庭メルケル細胞癌の 1 例

愛知医科大学 放射線科 伊藤 誠、磯部郁江、堀部俊恵、山本貴浩、松永 望
森川真也子、大島幸彦、森 美雅、河村敏紀、石口恒男

2. 耳下腺に生じた唾液腺導管癌の 1 例

金沢医科大学 放射線診断学 豊田一郎、利波久雄、北楯優隆、土屋直子、辻 裕之
下出祐造、湊 宏

3. 鼻中隔から発生した多形腺腫の 1 例

福井県済生会病院 放射線科 生野雅也、吉田未来、奥村健一朗、山城正司
宮山士朗

4. びまん性甲状腺腫大と石灰化リンパ節腫大を呈したアミロイドーシスの 1 例

福井赤十字病院 放射線科 竹内香代、欠田有美子、山田篤史、大堂さやか
高橋孝博、左合 直
耳鼻科 須長 寛
病理部 太田 諒

5. 頬骨 Langerhans cell histiocytosis の 1 例

金沢大学 放射線科 遠山 純、米田憲秀、八木俊洋、井上 大、北尾 梓
龍 泰治、川島博子、小林 聡、松井 修、蒲田敏文
病理 北村星子

セッション2 診断 その他 (15 時 55 分～16 時 19 分)

座長 山浦秀和 (愛知県がんセンター中央病院)

6. 椎体破裂による右大量血胸の 2 例

福井県立病院 放射線科 高田健次、永井圭一、服部由紀、山本 亨、吉川 淳

7. 食道癌術後乳び胸に対し SPECT/CT が漏出部位の同定に有効であった 1 症例

富山大学 放射線科 米山達也

8. 大腸癌の術後再発診断における定期 CT の意義

愛知県がんセンター中央病院 放射線診断・IVR 部

加藤弥菜、山浦秀和、佐藤洋造、鹿島正隆

川田紘資、村田慎一、稲葉吉隆

2月2日(日) 第1会場(メインホール)

セッション3 診断 呼吸器 (8時50分～9時22分)

座長 岩野信吾(名古屋大学)

9. 胸膜から発生低悪性度肉腫と考えられた1例

名古屋市立西部医療センター	放診	島村泰輝、佐々木繁、白木法雄、西川浩子
		北 大祐
	中放	原 眞咲
	病診	佐藤慎哉

10. FDG-PET/CT 検診を契機に発見された胸腺癌の1例

大垣市民病院	放射線科	島本宏矩、曾根康博
	呼吸器外科	重光希公生、石川義登、川崎成章

11. 肺原発Pleomorphic carcinomaの画像所見

名古屋市立大学	放射線科	平生和矢、小澤良之、中川基生、水野 希
		何澤信礼、芝本雄太
名古屋市立西部医療センター	中放	原 眞咲

12. 肺結節性病変に対する気管支鏡検査前の画像診断の意義

名古屋大学 量子医学 岩野信吾、岸本真理子、北野真利子、伊藤倫太郎、長縄慎二

セッション4 診断 腹部 (9時22分～10時02分)

座長 小坂一斗 (金沢大学)

13. 主膵管型 IPMN と鑑別を要した膵癌の2例

名古屋第一赤十字病院	放射線診断科	河合雄一、中道玲瑛、鎌田憲子、伊藤茂樹
	一般消化器外科	永井英雅、三宅秀夫
	病理部	藤野雅彦

14. 多発巨大肝血管腫の1例

岐阜大学	放射線科	棚橋裕吉、近藤浩史、五島 聡、河合信行、野田佳史 櫻井幸太、兼松雅之
	放射線医学	星 博昭
	腫瘍外科	佐々木義之、今井 寿、長田真二、吉田和弘
	病理部	宮崎龍彦

15. 肝細胞腺腫の1例

岐阜大学	放射線科	野田佳史、五島 聡、河合信行、棚橋裕吉、櫻井幸太 近藤浩史、兼松雅之
	放射線医学	星 博昭
金沢大学	放射線科	小坂一斗
	形態機能病理学	佐々木素子

16. 副腎病変を契機に発見された白血病の2例

福井県立病院	放射線科	服部由紀、高田健次、永井圭一、山本 亨、吉川 淳
	血液腫瘍内科	河合泰一

17. Adrenal rest tumorの1例

金沢大学	放射線科	四日 章、小坂一斗、吉田耕太郎、米田憲秀、香田 渉 小林 聡、松井 修、蒲田敏文
	消化器・乳腺・移植再生外科	太田哲生
	病理	池田博子

セッション5 診断 泌尿器・婦人科 (10時02分～10時42分)

座長 赤松北斗 (藤田保健衛生大学)

18. 腹腔内出血を生じた卵巢 Strumal carcinoid の1例

名古屋第一赤十字病院	放射線診断科	伊藤茂樹、中道玲瑛、河合雄一
	産婦人科	水野公雄
	病理	藤野雅彦

19. 子宮癌肉腫と子宮体癌の鑑別に有用な MRI 所見の検討

名古屋市立大学	放射線科	上嶋佑樹、竹内 充、河合辰哉
		川口毅恒、芝本雄太
社会保険中京病院	放射線科	竹内 萌
名古屋市立東部医療センター	放射線科	鈴木一史
刈谷豊田総合病院	放射線科	山本晶子
豊川市民病院	放射線科	小川正樹
岡崎市民病院	放射線科	荒川利直
名古屋第二赤十字病院	放射線科	伊藤雅人

20. 子宮広間膜より発生した上衣腫の1例

名古屋市立大学	放射線科	犬飼 遼、河合辰哉、辻村貴士、上嶋佑樹
		竹内 充、芝本雄太

21. 脂肪成分に乏しい卵巢成熟嚢胞性奇形腫のMRI所見の検討

藤田保健衛生大学	放射線医学	植田高弘、村山和宏、鱸 成隆、外山 宏
----------	-------	---------------------

22. 感染を契機に増大した後腹膜 dermoid cyst の1例

福井県済生会病院	放射線科	奥村健一朗、宮山士朗、生野雅也、吉田未来
		山城正司

セッション6 診断 脳神経 (10時42分～11時38分)

座長 中根正人 (名古屋セントラル病院)

23. 悪性腫瘍との鑑別を要した頭蓋内アスペルギルス症の1例

名古屋第一赤十字病院 放射線診断科 中道玲瑛、河合雄一、鎌田憲子、伊藤茂樹
脳神経外科 岩味健一郎

24. 髄膜炎で発症した epidermoid を伴う乳児 occipital dermal sinus の1例

福井大学 放射線科 杉山幸子、木下一之、小坂信之、山元龍哉、木村浩彦
小児科 田中奈々絵、米谷 博
脳脊髄神経外科 多田愛弓、有島英孝、菊田健一郎

25. glioma との鑑別に苦慮した primary CNS lymphoma の3例

藤田保健衛生大学 放射線医学 村山和宏、鮎 成隆、大家祐実、植田高弘
小森雅子、外山 宏
先端画像診断共同研究講座 片田和広

26. 異なる転帰となった小児急性脳症の2例

藤田保健衛生大学 放射線医学 鱸 成隆、村山和宏、外山 宏

27. 腫瘍脊椎骨全摘術後に発症したremote cerebellar hemorrhageの1例

金沢大学 放射線科 角谷嘉亮、池野 宏、油野裕之、遠山 純、森永郷子
前川一恵、植田文明、小林 聡、松井 修、蒲田敏文

28. PRESで発症した大動脈炎症候群の1例

金沢大学 放射線科 小森隆弘、油野裕之、井上 大、奥田実穂、南 哲弥、
眞田順一郎、植田文明、小林 聡、松井 修、蒲田敏文
内科 三宅保仁、和田隆志

29. 全脳放射線照射により誘発された多発性海綿状血管腫と出血

岐阜市民病院 放射線科 後藤雪乃、小島寿久、川口真平

セッション7 診断 乳腺 (11 時 38 分～12 時 10 分)

座長 白木法雄 (西部医療センター)

30. 術前診断に苦慮した乳腺管状癌の1例

藤田保健衛生大学 放射線医学

野村昌彦、赤松北斗、村山和宏、植田高弘

鱸 成隆、外山 宏

乳腺外科

内海俊明

31. 乳房トモシンセシスの初期経験

岐阜大学 放射線科

大野裕美、五島 聡、後藤雪乃、兼松雅之

放射線医学

星 博昭

32. 乳腺造影 CT における背景乳腺の増強効果

名古屋市立大学 放射線科

後藤多恵子、浦野みすぎ、水野 希、小林 晋

何澤信礼、芝本雄太

名古屋市立西部医療センター 放射線診断科 白木法雄

33. 急速に増大した乳腺化生癌の1例

高岡市民病院 放射線科

山本 幾、小林佳子、寺山 昇、上村良一

外科

藪下和久、小林隆司

病理

岡田英吉

セッション8 治療 治療技術・臨床成績 (12 時 10 分～13 時 06 分)

座長 杉江愛生 (名古屋市立大学)

34. 当院における再発・難治性低悪性度 B 細胞性非ホジキンリンパ腫に対する

90Y-イブリツモマブ チウキセタンによる Radioimmunotherapy (RIT) の初期経験

愛知医科大学 放射線科

大島幸彦、堀部俊恵、伊藤 誠、磯部郁江、松永 望

山本貴浩、森 美雅、河村敏紀、石口恒男

35. 放射線治療が著効したケラトアカントーマの1例

富山県立中央病院 放射線治療科	山岸健太郎、豊嶋心一郎
京都大学 放射線治療科	井口治男

36. 転移性脊椎腫瘍に対する IMRT による再照射

静岡がんセンター 放射線治療科	川城壮平、原田英幸、角田貴代美
	尾上剛士、小川洋史、朝倉浩文、西村哲夫
陽子線治療科	藤 浩、村山重行

37. 幹部定位照射の線量分布に関する検討(固定多門照射と VMAT の比較)

金沢大学 放射線治療科	中川美琴、熊野智康、當摩陽子、藤田真司
	大橋静子、柴田哲志、高仲 強

38. 転移性脳腫瘍に対する TomoEDGE における至適 Field width の検討

名古屋市立大学 放射線科	林 晃弘、高間夏子、竹中 蘭、真鍋良彦
	岩渕学緒、杉江愛生 芝本雄太

39. 化学療法不応性多発肝転移に対するトモセラピー

ー有害事象、肝耐容能、生存率の評価ー

名古屋市立大学 放射線科	高岡大樹、長澤万惟子、服部有希子、真鍋良彦
	岩渕学緒、大塚信哉、柳 剛、芝本雄太

40. 画像誘導放射線治療におけるマーカー利用の有効性に関する検討

名古屋市立西部医療センター 放射線治療科	岩名真帆、馬場二三八
放射線診断科	西川浩子、佐々木 繁
中央放射線部	長瀬友繁、原 真咲
名古屋陽子線治療センター	橋本真吾、岩田宏満、荻野浩幸
	溝江純悦
名古屋市立大学 放射線医学分野	芝本雄太

2月2日（日） 第2会場（大会議室）

セッション9 治療 頭頸部 （8時50分～9時46分）

座長 石原俊一（豊橋市民病院）

41. 原発性肺癌からの脳転移に対する寡分割定位照射の経験

聖隷三方原病院 放射線治療科 石原武明、山田和成

42. 頭皮血管肉腫に対する手製ボースを用いた IMRT の初期経験

富山県立中央病院 放射線治療科 豊嶋心一郎、山岸健太郎
画像技術科 酒井勉欣、原 勇人
看護部 小竹佳津子、江川真紀子

43. 眼付属器 MALT リンパ腫の治療成績

名古屋医療センター 放射線科 立川琴羽、加藤恵利子

44. 上咽頭癌に対する 2-step 法での IMRT 施行症例における耳下腺体積と線量変化の検討

愛知県がんセンター中央病院 放射線治療部 牧田智誉子、立花弘之、富田夏夫
清水亜里沙、竹花恵一、清水秀年、古平 毅

45. 下咽頭癌に対する IMRT を用いた化学放射線療法の治療成績

愛知県がんセンター中央病院 放射線治療部 竹花恵一、清水亜里紗、牧田智誉子
富田夏夫、立花弘之、古平 毅

46. 頭頸部癌 IMRT 実施症例における晩期の甲状腺機能評価

愛知県がんセンター中央病院 放射線治療部 清水亜里紗、竹花恵一、牧田智誉子
富田夏夫、立花弘之、古平 毅

47. 当院における耳下腺癌術後放射線治療の検討

名古屋市立大学 放射線科 長澤万惟子、高間夏子、林 晃弘、
岩渕学緒、大塚信哉、柳 剛、芝本雄太

セッション１０ 治療 胸部 （９時４６分～１０時４２分）

座長 伊井憲子（三重大学）

48. 高線量率気管支腔内照射に対して、三次元画像誘導計画を用いた線量評価の検討

三重大学医学部附属病院	放射線治療科	伊井憲子、高田彰憲、豊増 泰
三重大学大学院医学系研究科	放射線腫瘍学	野本由人
厚生連松阪中央総合病院	放射線治療科	山下泰史、落合 悟
	放射線科	村嶋秀市
三重大学大学院医学系研究科	放射線医学	佐久間 肇

49. 多施設間での肺定位照射の治療計画、線量分布の比較

ーアイソセンター処方、辺縁処方それぞれの場合ー

名古屋市立西部医療センター	放射線治療科	馬場二三八、岩名真帆
	中央放射線部	原 真咲
名古屋陽子線治療センター	陽子線治療科	橋本真吾、岩田宏満、荻野浩幸
		溝江純悦
名古屋共立病院	放射線外科センター	橋爪知紗
社会保険中京病院	放射線科	綾川志保
名古屋第二赤十字病院	放射線科	松井 徹
藤枝平成記念病院	放射線科	宮川聡史
名古屋市立大学	放射線科	芝本雄太

50. 肺癌に対する体幹部定位放射線治療後の肋骨骨折の検討

松阪中央総合病院	放射線治療科	落合 悟、山下恭史、井上友喜
		姫子松博洋、豊田友美、上田三三夜
三重大学医学部	放射線腫瘍学講座	野本由人

51. 肺癌に対する TomoEDGE の有用性

名古屋市立大学	放射線科	真鍋良彦、長澤万惟子、林 晃弘、竹中 蘭
		杉江愛生、柳 剛、芝本雄太

52. TomoEDGE を用いた TomoDirect 乳房術後照射

名古屋市立大学 放射線科

杉江愛生、高岡大樹、服部有希子、林 晃弘

竹中 蘭、真鍋良彦、芝本雄太

53. Field-in-field 法を用いた乳房接線照射における肺ブロックに関する検討

岐阜大学医学部附属病院 放射線科

田中秀和、林 真也、大宝和博、星 博昭

54. 食道癌に対する放射線治療成績の検討

名古屋大学 放射線科 伊藤淳二、伊藤善之、浅野晶子、岡田 徹、久保田誠司

牧 紗代、中原理絵、西山香菜、長縄慎二

セッション 11 治療 前立腺 (10 時 42 分～11 時 38 分)

座長 立花弘之 (愛知県がんセンター中央病院)

55. 前立腺シード治療において撮像体位の違いがポストプランの結果に及ぼす影響

金沢大学 放射線治療科

藤田真司、柴田哲志、熊野智康、當麻陽子

中川美琴、大橋静子、高仲 強

56. 前立腺シード治療における術前、術中、術後プランの比較検討

金沢大学 放射線治療科

柴田哲志、熊野智康、當麻陽子、藤田真司

中川美琴、大橋静子、高仲 強

泌尿器科

小中弘之、北川育秀

放射線科

蒲田敏文

57. 前立腺癌に対する密封小線源治療におけるリンクシードとオンコシードの比較

藤田保健衛生大学 医学部 放射線医学

伊藤正之、大家裕美、服部秀計、外山 宏

放射線腫瘍科

伊藤文隆、小林英敏

泌尿器科

城代貴仁、引地 克、日下 守、白木良一

58. 前立腺癌 I-125 密封小線源治療（±外部照射）の臨床的検討

名古屋大学	放射線科	牧 紗代、伊藤善之、伊藤淳二、久保田誠司、岡田 徹 浅野晶子、中原理絵、西山香菜、長縄慎二
	泌尿器科	吉野 能、藤田高史、後藤百万
	保健学科	池田 充

59. 当院における前立腺癌・I125 密封小線源治療の初期経験

社会保険中京病院	放射線科	綾川志保、小崎 桂、伊藤俊裕
	泌尿器科	小松智徳、木村 亨、辻 克和、絹川常郎
名古屋市立西部医療センター	放射線治療科	馬場二三八
名古屋市立大学	放射線医学講座	芝本雄太

60. 限局性前立腺癌に対する I-125 シード線源治療の晩期有害事象の検討

金沢医科大学	放射線治療科	太田清隆、近藤 環、的場宗孝
	放射線科	渡邊直人、利波久雄

61. 前立腺マーカー留置術における経会陰的アプローチ法と

経直腸的アプローチ法との比較

名古屋市立西部医療センター		
名古屋陽子線治療センター	荻野浩幸、岩田宏満、橋本眞吾、溝江純悦	
放射線治療科	岩名真帆、馬場二三八	
名古屋市立大	放射線科	村井太郎、芝本雄太

セッション12 治療 骨盤・定位照射（11時38分～12時26分）

座長 高仲 強（金沢大学）

62. 当院における前立腺癌に対する放射線治療の中期成績

愛知県がんセンター中央病院	放射線治療部	富田夏夫、牧田智誉子、立花弘之 清水亜里沙、竹花恵一、古平 毅
	泌尿器科	曾我倫久人、小倉友二、林 宣男

63. 肛門管癌の放射線治療成績

名古屋市立大学 放射線科

高間夏子、高岡大樹、服部有希子、岩淵学緒
大塚信哉、杉江愛生、柳 剛、芝本雄太

64. 子宮頸癌に対する外照射及び腔内照射の骨盤内リンパ節領域への線量評価

金沢大学 放射線治療科

大橋静子、熊野智康、當摩陽子、藤田真司
中川美琴、柴田哲志、高仲 強

65. 聴器がんに対するサイバーナイフ治療

横浜サイバーナイフセンター

村井太郎、太田誠志、帯刀光史

千葉徳洲会 頭頸部外科センター

鎌田信悦

日本赤十字医療センター サイバーナイフセンター

佐藤健吾

すずかけセントラル病院 放射線治療センター

横田尚樹

名古屋陽子線治療センター

岩田宏満

名古屋市立大学 放射線科

岩淵学緒、芝本雄太

66. 尿管癌、肝転移に対して複数回定位照射を施行した1例

社会保険 中京病院 放射線科

小崎 桂、綾川志保、伊藤俊裕

泌尿器科

辻 克和

放射線部

野々垣喜徳、田中 聡、長谷川信司

名古屋市立西部医療セ 放射線治療科

馬場二三八

名古屋第二赤十字病院 放射線科

松井 徹

名古屋市立大学 放射線医学講座

芝本雄太

67. 転移性肝腫瘍に対する IMRT を用いた定位放射線治療の初期経験

石川県立中央病院 放射線治療科

櫻井孝之、清水博志

放射線診断科

小林 健、宇野幸子、南 麻紀子

片桐亜矢子、寺田華奈子

金沢大学附属病院 放射線治療科

熊野智康、柴田哲志、高仲 強

福井県済生会病院 放射線治療センター

永井愛子

セッション13 治療 陽子線 (12時26分～13時22分)

座長 岩田宏満 (名古屋市立西部医療センター)

68. 陽子線の酸素効果比 -in vitro study-

名古屋市立西部医療センター 名古屋陽子線治療センター

陽子線治療科 岩田宏満、荻野浩幸、橋本眞吾、溝江純悦

放射線治療科 岩名真帆

陽子線治療技術科 安井啓祐、柴田洋希

陽子線物理科 大町千尋

名古屋医療センター 放射線科 立川琴羽

名古屋市立大学大学院 放射線医学分野 真鍋良彦、芝本雄太

69. 陽子線 Spot Scanning 照射法の初期経験－生物学的基礎・臨床検討－

名古屋市立西部医療センター 名古屋陽子線治療センター

陽子線治療科 岩田宏満、荻野浩幸、橋本眞吾、溝江純悦

陽子線治療技術科 安井啓祐、林 建佑

陽子線物理科 歳藤利行

名古屋市立西部医療センター 放射線治療科 岩名真帆、馬場二三八

名古屋市立大学大学院 放射線医学分野 芝本雄太

70. 肝腫瘍に対する image-guided proton therapy の初期経験

名古屋市立西部医療センター 放射線治療科 岩名真帆、馬場二三八

名古屋陽子線治療センター 陽子線治療科 橋本眞吾、岩田宏満、荻野浩幸
溝江純悦

陽子線治療技術科 林 建佑

陽子線物理科 歳藤利行

名古屋市立西部医療センター 放射線診断科 佐々木 繁

中央放射線部 原 眞咲

名古屋市立大学 放射線医学分野 芝本雄太

71. 前立腺がんに対する陽子線治療の初期経験

福井県立病院 陽子線がん治療センター 高松繁行、山本和高、佐藤義高、川村麻里子

核医学科 玉村裕保

福井大学医学部 放射線科 朝日智子

金沢医科大学 放射線科 近藤 環

72. 食道がん陽子線治療の初期経験

福井県立病院	陽子線がん治療センター	川村麻里子、朝日智子、高松繁行
		山本和高、佐藤義高
	核医学科	玉村裕保

73. 陽子線治療が早期に著効した局所進行鼻腔腺様嚢胞癌の1例

福井県立病院 陽子線がん治療センター 佐藤義高、山本和高、高松繁行、川村麻里子

74. 前立腺癌陽子線治療中の尿路障害に対する Tamsulosin 投与の有効性（中間報告）

名古屋陽子線治療センター	橋本真吾、岩田宏満、荻野浩幸、溝江純悦
名古屋市立西部医療センター	岩名真帆、馬場二三八
横浜サイバーナイフセンター	村井太郎
名古屋市立大学付属病院 放射線科	芝本雄太

学会協賛・広告掲載企業一覧 (50 音順)

(学会協賛企業)

朝日インテック J セールス (株)
(株) 中部メディカル
(株) ツムラ
日本メジフィジックス (株)
バイエル薬品 (株)
富士製薬工業 (株)
(株) メディコスヒラタ
(株) ユー・ティー・エム

(広告掲載企業)

朝日インテック J セールス (株)
アステラス製薬 (株)
エイペックスメディカル (株)
エーザイ (株)
大塚製薬 (株)
J F E テクノス (株)
(株) ジェイ・エム・エス
シーメンス・ジャパン (株)
第一三共 (株)
大日本住友製薬 (株)
大鵬薬品工業 (株)
中外製薬 (株)
テルモ・クリニカルサプライ (株)
(株) 東海メディカルプロダクツ
東芝メディカルシステムズ (株)
東レ・メディカル (株)
日本アキュレイ (株)
日本化薬 (株)
日本ストライカー (株)
日本メジフィジックス (株)
バイエル薬品 (株)
(株) バリアン メディカルシステムズ
富士製薬工業 (株)
富士フィルム R I ファーマ (株)
メディカル・エクスパート (株)
メディキット (株)
(株) メディコン
(株) 八神製作所
(株) ヤクルト本社
(株) ワキタ商会

ASAHI Tellus

Microcatheter

血管選択性・安定操作性・安定造影性マルチパフォーマンスを追求した
1.9Fr オールラウンド型マイクロカテーテル

販売名：マイクロカテーテルV

医療機器承認番号：22400BZX00331000

特定保険医療材料機能区分：血管造影用マイクロカテーテル オーバーザワイヤー 選択的アプローチ型（ブレードあり）

ASAHI Veloute

Microcatheter

ASAHIの技術を駆使した 1.7Fr 超選択的 マイクロカテーテル

販売名：マイクロカテーテルV

医療機器承認番号：22400BZX00331000

特定保険医療材料機能区分：血管造影用マイクロカテーテル オーバーザワイヤー 選択的アプローチ型（ブレードあり）

「ASAHI」、「ASAHI Tellus」及び「Veloute」は

朝日インテック株式会社の日本国及びその他の国における商標または登録商標です。

製造販売元

ASAHI INTECC

朝日インテック株式会社

〒489-0071 愛知県瀬戸市曉町3番地100

TEL:0561-48-5551 FAX:0561-48-5552

<http://www.asahi-intecc.co.jp/>

販売元

ASAHI INTECC J-sales

朝日インテックJセールズ株式会社

〒160-0023

東京都新宿区西新宿一丁目22番2号 新宿サンエービル13階

TEL:03-5339-6290 FAX:03-5339-6291

<http://www.asahi-inteccj.com/>

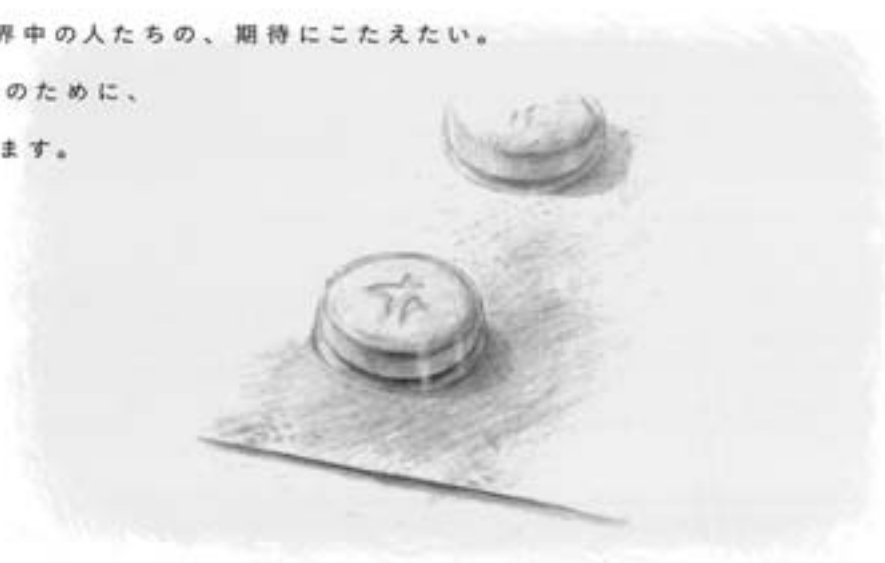
世界にまだないくすりのために。

まだ治せない病気とたたかう人たちの、支えになりたい。

まだないくすりを待つ世界中の人たちの、期待にこたえたい。

世界の明日を変える一錠のために、

わたしたちは挑戦を続けます。



www.astellas.com/jp/

明日は変えられる。

astellas
アステラス製薬

lomeron

処方せん医薬品：注意—医師等の処方せんにより使用すること
非イオン性造影剤

イオメロン 300 注 20mL/50mL/100mL
350 注 20mL/50mL/100mL
400 注 20mL/50mL/100mL

〈イオメプロール注射液〉

処方せん医薬品：注意—医師等の処方せんにより使用すること
非イオン性造影剤

イオメロン 300 注 シリンジ 50mL/75mL/100mL
350 注 シリンジ 50mL/75mL/100mL/135mL

〈イオメプロール注射液〉



処方せん医薬品：注意—医師等の処方せんにより使用すること
非イオン性MRI用造影剤

プロハンス 静注 5mL/10mL/15mL/20mL
〈ガドテリドール注射液〉

処方せん医薬品：注意—医師等の処方せんにより使用すること
非イオン性MRI用造影剤

プロハンス 静注シリンジ 13mL/17mL
〈ガドテリドール注射液〉

ProHance

● 効能・効果、用法・用量及び警告、禁忌、原則禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

製造販売元
ブラッコ・エーザイ株式会社
東京都文京区大塚3-11-6

販売元
エーザイ株式会社
東京都文京区小石川4-6-10

提携先
ブラッコ スイス株式会社

製品情報お問い合わせ先：エーザイ株式会社 お客様ホットライン フリーダイヤル 0120-419-497 9～18時（土、日、祝日 9～17時）

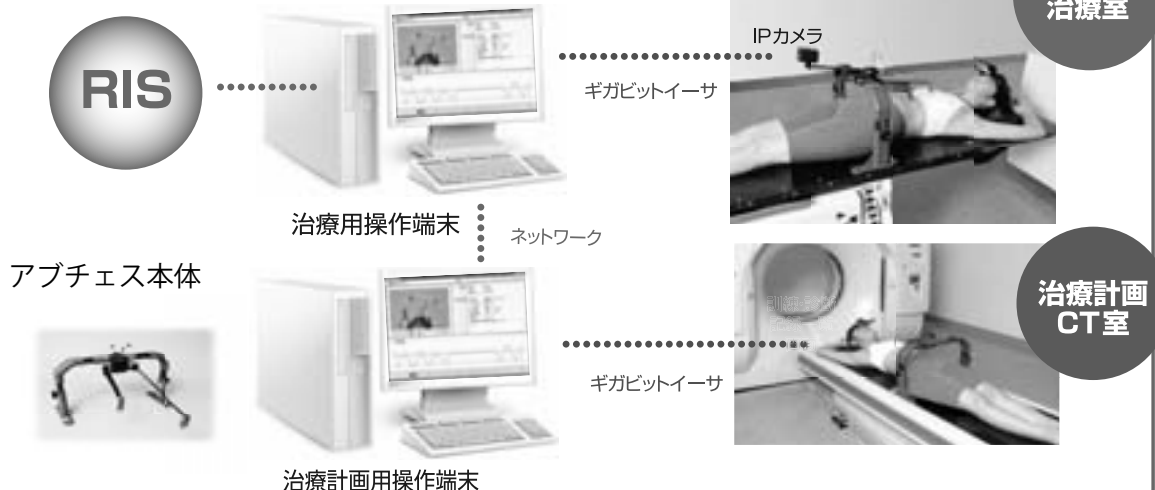
CM1210M02



Respiratory Monitoring Device [アブチェス・デジタル]

アブチェスを用いることで、患者さんは安定な呼吸と正確な息止めが行える
CCD カメラを用い、呼吸波形と呼吸指示マーカ位置をデジタル値でリアルタイム表示
波形データを患者データベースに記録することで、放射線治療における呼吸管理を実現

アブチェス・デジタル システム構成



アブチェス・デジタル～ソフトウェア



メニュー画面

呼吸モニタリング機能

- CCDカメラによるアブチェス目盛板の撮影画像からリアルタイムに指針角度を自動抽出し、アプリケーション画面に表示
- CCDカメラによるアブチェス目盛板の撮影画像から患者の呼吸状態をリアルタイムに自動解析し、呼吸波形としてアプリケーション画面に表示
- 患者用呼吸確認スイッチ信号による呼吸停止状態を呼吸波形に反映し、アプリケーション画面に表示
- 患者の呼吸波形状態を管理し、補助音声ナビゲーションにより安定した呼吸維持をサポート



訓練・診断
記録一覧
画面



訓練・診断
記録詳細表示
画面

患者情報マネジメント機能

- 基本情報の登録・閲覧
(カルテNo./患者管理ID/氏名など)
- 診療/訓練記録の登録・閲覧
(担当医/診療内容/呼吸波形データなど)

●製品に関するお問い合わせ

APEX エイペックスメディカル株式会社

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-2-5-2F

TEL: 03-3812-6960 FAX: 03-3812-6964

<http://www.apexrt.co.jp/>

●製造元

株式会社イマック

〒524-0215 滋賀県守山市幸津川町 1551

TEL: 077-585-6767 FAX: 077-585-6790

<http://www.kkimac.jp/>

2nd
ANNIVERSARY



V₂-受容体拮抗剤 劇薬、処方せん医薬品* 薬価基準収載

Samsca® サムスカ®錠 7.5mg 15mg
(tolvaptan) Samsca tablets トルバプタン錠

サムスカ
錠 7.5mg
新発売

*注意—医師等の処方せんにより使用すること

◇効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等は、添付文書をご参照ください。

製造販売元
大塚製薬株式会社
Otsuka 東京都千代田区神田司町2-9

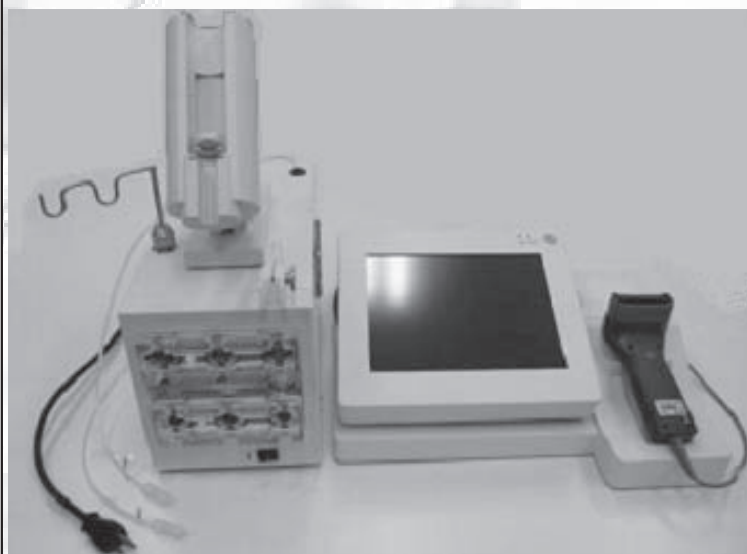
資料請求先
大塚製薬株式会社 医薬情報センター
〒108-8242 東京都港区港南2-16-4 品川グランドセントラルタワー

〈'13.08作成〉

What is CUBE?



[³N]アンモニア合成装置 Lab-CUBE NH₃



【医療機器承認番号 22400BZX00083000】

くらしの礎をつくり
そして守り続ける

JFE テクノス株式会社

量子システム事業部

〒230-0045 横浜市鶴見区末広町 2-1

TEL 045-505-6550 FAX 045-505-6523

Nadeshiko®

JMS Seamless Micro Catheter Nadeshiko For IVR Therapy

茜

- 先端外径寸法を1.9Frとし、高い血管選択性を実現しました。
- ナデシコ独自のシームレスシャフトによる滑らかなシャフト硬度変化により、高い操作性を実現しました。
- 内径は先端から手元まで0.020inchのノンテーパタイプなので、塞栓コイルの使用に適しています。

販売名：ナデシコ 医療機器承認番号：21200BZZ00459000

JMS

<http://www.jms.cc>

製造販売元
株式会社 ジェイ・エム・エス

お問い合わせ先

東京本社 第三営業部 TEL(03)6404-0603

〒140-0013 東京都品川区南大井1丁目13番5号 新南大井ビル



大日本住友製薬



肝細胞癌治療剤

新薬・処方せん医薬品（注）※一部診療の処方せんにより使用すること

ミリプラ® 動注用 **70mg**
MIRIPLA® 注射用ミリプラチン水和物

効能・効果、用法・用量、警告・禁忌・原則禁忌を含む使用上の注意等については、添付文書をご参照ください。

薬価基準収載

製造販売元（資料請求先）

大日本住友製薬株式会社

〒541-0045 大阪市中央区道修町2-6-8

（製品に関するお問い合わせ先）

くすり情報センター

☎ 0120-034-389

受付時間：月～金 9:00～18:00（祝日を除く）
【医療情報サイト】 <http://de-pharma.jp/>

A large, white, multi-jointed robotic arm, the Siemens Artis zeego, is shown in a studio setting. The arm is positioned diagonally across the frame, with its base on the left and its end effector on the right. The end effector is a complex assembly with a Siemens logo and some text. The background is a plain, light gray.

SIEMENS

Answers for life.

Artis zeego

多軸血管撮影装置

その手で掴むのは自由。
新たな患者へのアプローチ、新たな戦略、
新たなワークフロー。

世界初、多軸方式アーム機構を採用。アイソセンターを任意設定できる画期的な FIS (Flexible Isocenter System) を搭載し、精密で柔軟性の高いイメージング環境を実現します。循環器・頭頸部・体幹部をはじめとするインターベンション、そしてハイブリッド OR や ER へ。

Artis zeego は、新たな価値と可能性を提供します。

www.siemens.co.jp/healthcare/

認証番号: 219AIBZX00107000
クラス分類: 管理医療機器 (クラス II)

特定保守管理医療機器: 該当
設置管理医療機器: 該当



非イオン性造影剤

処方せん医薬品※

薬価基準収載



オムニパーク®

OMNIPAQUE®

※注意—医師等の処方せんにより使用すること

日本薬局方 イオヘキソール注射液(バイアル製剤)

オムニパーク300注50mL・100mL(尿路・血管用)
オムニパーク350注50mL(尿路・血管用)
オムニパーク350注100mL(血管用)

イオヘキソール注(バイアル製剤)

オムニパーク240注20mL(尿路・血管用)
オムニパーク300注20mL(尿路・血管用)
オムニパーク350注20mL(尿路・血管用)
オムニパーク180注10mL(脳槽・脊髄用)
オムニパーク240注10mL(脳槽・脊髄用)
オムニパーク300注10mL(脊髄用)

イオヘキソール注(プラスチックボトル製剤)

オムニパーク140注50mL・220mL(血管用)
オムニパーク240注50mL・100mL(尿路・血管用)
オムニパーク300注50mL・100mL(尿路・血管用)
オムニパーク300注150mL(血管用)
オムニパーク350注50mL(尿路・血管用)
オムニパーク350注100mL(血管用)

イオヘキソール注

オムニパーク240注シリンジ100mL(尿路・血管・CT用)
オムニパーク300注シリンジ50mL(尿路・CT用)
オムニパーク300注シリンジ80mL・100mL(尿路・血管・CT用)
オムニパーク300注シリンジ110mL・125mL・150mL(CT用)
オムニパーク350注シリンジ70mL・100mL(血管・CT用)

★効能・効果、用法・用量、警告、禁忌および使用上の注意等の
詳細につきましては、製品添付文書をご参照ください。



Daiichi-Sankyo

製造販売元(資料請求先)

第一三共株式会社

東京都中央区日本橋本町3-5-1

代謝拮抗剤 **新発売**

劇薬、処方せん医薬品 (注意—医師等の処方せんにより使用すること)

薬価基準収載

ティ-エスワン®配合OD錠 T20・T25

TS-1 combination OD tablet T20・T25

テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム配合有核型口腔内崩壊錠



※効能・効果、用法・用量、警告、禁忌を含む使用上の注意、
効能・効果及び用法・用量に関連する使用上の注意等
については、添付文書をご参照ください。

製造販売元
資料請求先
(西薬品情報課)



大鵬薬品工業株式会社
〒101-8444 東京都千代田区神田錦町1-27
TEL 0120-20-4527 FAX 03-3293-2451
<http://www.taiho.co.jp/>

©2013年6月作成

 **MicroVention®**
TERUMO



ハイドロゲルの塞栓力。

コイルで埋められない隙間をハイドロゲルで充填。
より高い塞栓率をめざした、
ユニークな膨潤型のハイドロゲル・コイルです。

AZURの特長：

- ハイドロゲルの膨潤により、高い充填率を期待できます。
- 容易な留置と高いデリバリー性能をめざした V-Trak デリバリーシステムを採用しています。

膨潤型血管内塞栓用コイル

AZUR®
アズール

販売名：テルモ末梢血管塞栓用コイルシステム 医療機器承認番号：22400BZX00366000 [一般名称：中心循環系血管内塞栓促進用補綴材]
販売名：V-Trak マイクロブックスコイルシステム 医療機器承認番号：22100BZX00213000 [一般名称：中心循環系血管内塞栓促進用補綴材]

製造販売業者 **テルモ株式会社** 〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷2-44-1 <http://www.terumo.co.jp/>

販売業者 **テルモ・クリニカルサプライ株式会社** 〒501-6024 岐阜県各務原市川島竹早町3番地

TEL：0586-89-2711 <http://terumo.clinicalsupply.co.jp/>

AZURは、テルモ末梢血管塞栓用コイルシステムのベトナム名です。

④、TERUMO、テルモ、AZUR、アズールは

テルモ株式会社の登録商標です。

V-Trak はマイクロペンション社の登録商標です。

©テルモ株式会社 2012 年12 月



中外製薬

at the Front Line
CHUGAI ONCOLOGY



抗悪性腫瘍剤 抗VEGF^{注1)}ヒト化モノクローナル抗体
生物由来製品、劇薬、処方せん医薬品^{注2)}

薬価基準収載

アバスタチン[®] 点滴静注用 **100mg/4mL**
400mg/16mL
AVASTIN[®]

ペバシズマブ(遺伝子組換え) 注

注1) VEGF : Vascular Endothelial Growth Factor(血管内皮増殖因子)

注2) 注意—医師等の処方せんにより使用すること

※効能・効果、用法・用量、警告、禁忌、原則禁忌を含む使用上の注意、効能・効果に関連する使用上の注意、用法・用量に関連する使用上の注意等は製品添付文書をご参照ください。

[資料請求先]

中外製薬株式会社 〒103-8324 東京都中央区日本橋室町2-1-1

ホームページで中外製薬の企業・製品情報をご覧ください。

<http://www.chugai-pharm.co.jp>

2009年4月作成

Carnelian[®]
MARVEL
Micro Catheter

更なる less invasive へ。
Something new なシステム提案を
発信する2タイプです。

高度な血管選択性能と、高いフローレート性能を兼ね備えた
“Hybrid” パフォーマンスを実現しました。

Carnelian[®]
ER
Micro Catheter

新しくブレード素材にタングステンを採用し、
カテーテルシャフトの
程よい視認性を付加しました。

Carnelian[®]
PIXIE
Micro Catheter

製造発売元／株式会社
東海メディカルプロダクツ
本社／〒486-0808 愛知県春日井市田楽町更屋敷1485
TEL 0568-54-7661 FAX 0568-87-0058

一般的名称／中心循環系マイクロカテーテル
承認番号／21600BZZ00094000
高度管理医療機器(クラス4)
単回使用

販売名／TMPマイクロカテーテル
特定保険医療材料請求分類
血管造影用マイクロカテーテル／オーバーザワイヤー／
選択的アプローチ型／ブレードあり(OSB)

TOSHIBA
Leading Innovation >>>

Infinix Celeve-i[™] Hybrid Solution



真の使いやすさを求めて

- ▶ 堅牢なチルト対応テーブル
- ▶ 自在に空間を作り出すマルチアクセス C アーム
- ▶ Dose Navigation コンセプトによる豊富な線量低減機能
- ▶ 様々な 3D アプリケーション 血管解析機能
- ▶ 目的に合せた環境の提案

Minimize. Visualize.

患者さんや医療スタッフの被ばくや負担を最小にすること、そして
診断や治療のため最良の画像を提供することが私たちの使命です。



東芝メディカルシステムズ株式会社

本社 〒324-8550 栃木県大田原市下石上1385番地
<http://www.toshiba-medical.co.jp>

X線循環器診断システム Infinix Celeve-i INFx-8000C 認証番号 218ACBZX00004000

管理医療機器
医療機器認証番号: 223AABZX00004000
販売名: ウィングド シュアカン

シュアカン セーフティⅡ

Power-injectable safety non-coring needles for Access Ports



TORAY
Innovation by Chemistry

Surecan® SafetyⅡ
東レ・メディカル株式会社

CyberKnife®

RADIOSURGERY

TomoTherapy®

RADIATION THERAPY



サイバーナイフ
ラジオサージェリーシステム VSI

TomoHシリーズ

One company, two great technologies

Together, we provide our customers and their patients more powerful
and more flexible radiation oncology options.

医療機器承認番号: 22200BZX00721000 販売名: サイバーナイフ ラジオサージェリーシステム
医療機器承認番号: 22300BZX00380000 販売名: TomoHDシステム

販売元・お問い合わせ先



日本アキュレイ株式会社

〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル7階
TEL: 03-6265-1526 / FAX: 03-3272-6166 / www accuray.co.jp

NK

Speciality, Biosimilar & Generic
plus IVR

消化器領域の製品ラインナップ

抗菌性腸薬 効能・効果・用法・用量等

動注用アイエーコル[®] 50mg・100mg

シスプラチン製剤

代謝性腸薬 効能・効果・用法・用量等

エヌケー・エスワン[®] 配合カプセル T20・T25

テガフルーロ・メタサル・メタサル・カプセル配合カプセル剤
NK5-1 combination capsules T20・T25

抗菌性腸薬 効能・効果・用法・用量等

ハクリタキセル[®] 注 20mg/5mL

ハクリタキセル製剤

抗菌性腸薬 効能・効果・用法・用量等
ランタ[®] 錠 10mg/20mL
Rando Inc. 25mg/50mL
50mg/100mL
ランタ[®]錠

株式会社 **日本化薬株式会社**
東京都千代田区富士見一丁目11番2号

日本化薬医薬品情報センター 日本化薬医薬品情報
0120-825,202 (フリーダイヤル) <http://www.jpcokepharm.co.jp>

*注意：添付文書の用法用量により使用する。

※警告、禁忌、効能・効果、用法・用量、
使用上の注意などは、製品添付文書を
ご参照ください。



薬価基準収載
13.7 作成

Complete Embolic Solution for Peripheral

GDC[®]
Detachable Coils



stryker[®]
Neurovascular

Interlock[™]
Fibered IDC[™] Occlusion System

GDC[®] は、日本ストライカー株式会社の製品です。
Interlock[™] は、ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社の製品です。

販売名：GDC コイル 医療機器承認番号：21300BZY00488000
販売名：Fibered IDC コイル 医療機器承認番号：22100BZX01103000
MN/CO Xm 00/13

Interlock and IDC are trademarks of Boston Scientific Corporation.

Copyright © 2013 Stryker
Printed in Japan

製造販売元
日本ストライカー株式会社
112-0004 東京都文京区後楽2-6-1 tel: 03-6894-0000
www.stryker.co.jp

製造販売元
ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社
160-0023 東京都新宿区西新宿1-14-11 日廣ビル

90841217.AA

Are they the same?



※写真はイメージであり、症例との関係はありません。

放射性医薬品・脳疾患診断薬

薬価基準収載

処方せん医薬品^{注)}

ダットスキャン[®] 静注

放射性医薬品基準イオフルパン(¹²³I)注射液

注) 注意-医師等の処方せんにより使用すること

®: 登録商標

効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等は添付文書をご参照ください。



資料請求先

日本メジフィジックス株式会社

〒136-0075 東京都江東区新砂3丁目4番10号 <http://www.nmp.co.jp/>

製品に関するお問い合わせ先

☎0120-07-6941

2013年12月作成

lopamiron[®]
lopamidol



非イオン性尿路・血管造影剤 〈イオパミドール注射液〉

イオパミロン[®]注

150	300	370
300シリンジ	370シリンジ	

処方せん医薬品（注意—医師等の処方せんにより使用すること）

薬価基準収載

■効能・効果、用法・用量、警告・禁忌・原則禁忌を含む使用上の注意等については、添付文書をご参照ください。

本剤の商標は  イタリアの許諾に基づく



資料請求先
バイエル薬品株式会社
大阪市北区梅田2-4-9 〒530-0001
<http://www.bayer.co.jp/byl>

（2011年11月作成）

次世代の放射線治療へ！ Varian の TrueBeam が実現します。



TrueBeam は、フルデジタル化により、高速な制御と直感的な操作性を実現。また、多段 X 線エネルギー、高線量率 X 線モードは、柔軟かつ多様な治療計画を可能にし、大幅に治療のスループットを向上させ、患者様へ貢献します。

新しい治療技術の開発にも対応出来る、比類なき TrueBeam の新技術は、明日の放射線治療を担います。

TrueBeam

リニアアクセラレーター

株式会社 バリアン メディカル システムズ

〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町 5-1 METLIFE 兜町ビル 2 階 販売本部 TEL : (03) 4486-5010 FAX : (03) 4486-5009

URL : <http://www.varian.com>



**オイパロミン[®]注 300シリンジ150mLが
新しくラインナップに加わりました。**

非イオン性尿路・血管造影剤 イオパミドール注射液
処方せん医薬品^{注)} 薬価基準収載

オイパロミン[®]注
150 / 300 / 370 /
300シリンジ / 370シリンジ

MRI用造影剤 ガドペンテ酸ジメグルミン注射液
処方せん医薬品^{注)} 薬価基準収載

ガドペンテ酸メグルミン[®]静注液
37.14%シリンジ「F」
5mL / 10mL / 13mL / 15mL / 20mL

非イオン性造影剤 イオヘキソール注射液
処方せん医薬品^{注)} 薬価基準収載

イオパーク[®]注
300 / 350 /
240シリンジ / 300シリンジ / 350シリンジ

非イオン性MRI用造影剤 ガドジアミド水和物注
処方せん医薬品^{注)} 薬価基準収載

ガドジアミド[®]静注液
32%シリンジ「F」
5mL / 10mL / 13mL / 15mL / 20mL

注): 注意—医師等の処方せんにより使用すること。 ■効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等につきましては添付文書をご参照下さい。

ひとりひとりの笑顔にゆえたい。

製造販売元
(資料請求先)



富士製薬工業株式会社

〒939-3515
富山県富山市水橋辻ヶ堂1515番地
<http://www.fujipharma.jp/>

2013年4月作成

FUJIFILM

骨転移を 評価・管理する時代へ

放射性医薬品／
骨疾患診断薬・脳腫瘍及び脳血管障害診断薬

処方せん医薬品 注意—医師等の処方せんにより使用すること

テクネ[®] MDP 注射液/キット

放薬基：メチレンジホスホン酸テクネチウム(^{99m}Tc)注射液／注射液 調製用 薬価基準収載

●効能又は効果

テクネ[®]MDP注射液

1. 骨シンチグラフィによる骨疾患の診断
2. 脳シンチグラフィによる脳腫瘍及び脳血管障害の診断

テクネ[®]MDPキット

1. 骨シンチグラムによる骨疾患の診断
2. 脳シンチグラムによる脳腫瘍あるいは脳血管障害の診断

●用法及び用量

1. 骨シンチグラフィ

メチレンジホスホン酸テクネチウム(^{99m}Tc)注射液370～740MBqを被検者に静注し、2時間以後にシンチレーションスキャナ又はシンチレーションカメラを用いてディテクタを体外より骨診断箇所に向けて走査又は撮影することにより骨シンチグラムを得る。

2. 脳シンチグラフィ

メチレンジホスホン酸テクネチウム(^{99m}Tc)注射液740～925MBqを被検者に静注し、静注直後より速やかにディテクタを体外より頭部に向けて撮影することによりRIアンギオグラムを得、またRIアンギオグラフィ終了後に撮影することにより早期シンチグラムを得る。更に静注2時間以後に撮影することにより遅延シンチグラムを得る。

*テクネ[®]MDPキットの場合は、^{99m}Tcにて標識の後、上法により用いる。
なお、投与量は年齢、体重によりそれぞれ適宜増減する。

●使用上の注意

1. 重要な基本的注意

診断上の有益性が被曝による不利益を上回ると判断される場合のみ投与することとし、投与量は最小限度にとどめること。

2. 副作用

承認前の臨床試験では、274症例(骨シンチグラム)、229症例(脳シンチグラム)中、副作用は認められなかった。承認後の調査では、9,536症例中、副作用は認められなかった。(再審査対象外品目)

以下の副作用は、自発的に報告されたものである。

(1) 重大な副作用

ショック まれに(0.1%未満)ショックがあらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には適切な処置を行うこと。

(2) その他の副作用

	0.1%未満		0.1%未満
過敏症	皮膚発疹	消化器	悪心、嘔吐
循環器	低血圧	その他	結膜充血、気分不良、発熱

3. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので、患者の状態十分に観察しながら慎重に投与すること。

4. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊婦又は妊娠している可能性のある婦人及び授乳中の婦人には、原則として投与しないことが望ましいが、診断上の有益性が被曝による不利益を上回ると判断される場合にのみ投与すること。

5. 小児等への投与

小児等に対する安全性は確立していない(現在までのところ、十分な臨床試験成績が得られていない)。

6. 適用上の注意

* (1) 調製後：本品は調製後6時間以内に投与すること。

(2) 撮像前：静注後尿中に排泄されるので、特に骨盤部を対象とする場合はシンチグラフィ開始直前に排尿させた方が好ましい。

* (1)はテクネ[®]MDPキットのみについての注意です。

7. その他の注意

(1) シンチグラムの質には肥満や老年、腎機能障害が影響する可能性があるのに注意を要する。

(2) 血液透析患者では大関節周囲の骨や頭蓋骨・肋軟骨等の集積増加を示すことがある。

(3) Caの沈着のある腫瘍や代謝異常疾患の異所性石灰沈着の場合は、骨外集積を示すことがある。

(4) 本品を投与した後コンドロイチン硫酸鉄コロイドを投与すると肝描出を認めることがある。

(5) (社)日本アイソトープ協会医学・薬学部会放射性医薬品安全性専門委員会の「放射性医薬品副作用事例調査報告」において、まれに血管迷走神経反応(血圧低下、顔面蒼白など)、アレルギー反応(発赤、発疹など)などがあらわれることがあると報告されている。

※「効能又は効果」、「用法及び用量」、「使用上の注意」等の詳細については添付文書をご参照下さい。

製造販売元

富士フイルム RIファーマ株式会社

資料請求先：〒104-0031 東京都中央区京橋2-14-1 兼松ビル
ホームページ：http://fri.fujifilm.co.jp

TEL 03(5250)2620

Collateral RAS-500

Angiography head positioning device

MedEx

www.medical-ex.co.jp

IVR や脳血管画像診断をサポート。
ヘッドポジショニングデバイス

放射線治療における
先進のポジショニングレーザーシステム



Advanced LASER Series.

DORADO / APOLLO / ASTOR

LAP-LASER 日本国内総代理店・販売元

メディカル・エキスパート株式会社

Copyright © 2013 Medical Expert, Inc. All Right Reserved. Reproduction in whole or in part is prohibited without the prior written consent of the copyright holder.

金マーカ刺入キット

iGold™

Internal Fiducial Marker Kit for Radiotherapy

放射線治療にあらたな一歩

金マーカ



- 純金製のφ2.0mm球(金マーカ)とイントロデューサのキットです。
- 金マーカはイントロデューサを用いて、経皮的に前立腺や肝臓への留置が可能です。

医療機器承認番号:22400BZX00164000



メディキット株式会社

発売元:メディキット株式会社 〒113-0034 東京都文京区湯島 1-13-2 TEL.03-3839-0201
製造販売元:東郷メディキット株式会社 〒883-0062 宮崎県日向市大字日知屋字亀川 17148-6 TEL.0982-53-8000
<http://www.medikit.co.jp/>
<http://www.togomedikit.co.jp/>

いつまでも、
みんな笑顔で。



人も地球も健康に
Yakult

薬価基準収載

抗悪性腫瘍剤(イリノテカン塩酸塩水化物)
新薬・処方せん医薬品

カンプト® 点滴静注 40mg
100mg

抗悪性腫瘍剤(オキサリプラチン)
新薬・処方せん医薬品

エルプラット® 点滴静注 80mg
160mg 200mg

遺伝子組換えヒトG-CSF産生体製剤(フルトラスチム(遺伝子組換え))
処方せん医薬品

ノイアップ® 注 25 100
50 250

代謝拮抗性抗悪性腫瘍剤(ゲムシタビン塩酸塩)
新薬・処方せん医薬品

ゲムシタビン 点滴静注 200mg
1g 「ヤクルト」

抗悪性腫瘍剤(シスプラチン)
新薬・処方せん医薬品

シスプラチン 点滴静注 10mg
50mg 「マルコ」

活性型降血圧剤(レボホリナートカルシウム)
処方せん医薬品

レボホリナート 点滴静注 5mg 「ヤクルト」

創傷治癒化学療法、創傷皮膚カルモン合成増進剤(ニトタン)
新薬・処方せん医薬品

オペプリム®

5-HT受容体拮抗型制吐剤(インジセトロン塩酸塩)
新薬・処方せん医薬品

シンセロン® 錠 8mg

鎮痛解熱薬(フルタミド)
新薬・処方せん医薬品

フルタミド錠125「KN」

※注意-医師等の処方せんにより使用すること

●「効能・効果」、「用法・用量」、「警告・禁忌を含む使用上の注意」等については添付文書をご参照ください。

2013年6月作成

(資料請求先)

株式会社ヤクルト本社

〒104-0061 東京都中央区銀座7-16-21 銀座木挽ビル
☎0120-589601 (医薬学療法 ぐすり相談室)

Device with New Concept for the Patient

power port
IMPLANTABLE PORT

“All in One” port

- CECT
- Blood withdrawal
- Chemotherapy



販売名：パワーポートMRI isp
承認番号：22200BZX00885000
クラス分類：[4]高度管理医療機器
一般的名称：長期的使用注入用植込みポート

※事前に必ず添付文書を読み、本製品の使用目的、禁忌・禁止、警告、使用上の注意等を守り、使用方法に従って正しくご使用ください。本製品の添付文書は、弊社WEBサイト及び独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)の医薬品医療機器情報提供ホームページでも閲覧できます。

※製品の仕様・形状等は、改良等の理由により予告なく変更する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

※Bard、バード、PowerPort、パワーポートは、C. R. Bard社の登録商標です。

BARD
ACCESS SYSTEMS

製造販売業者



株式会社 メディコン

本社 大阪市中央区平野町2丁目5-8
☎06(6203)6541(代) <http://www.medicon.co.jp>



歴史に学び、「今を考え」 「有り難い」ことの実現を提案します。

八神製作所は、140余年に亘り、医療の発展とともに歩んできました。
その間、医療のあり方が治療のみならず、健康開発、介護・福祉へと広がるにつれて業容を拡大。
現在は「健康開発」「疾病治療」「介護・福祉」「保守点検・修理」を4本柱として確立。
ひたすら「有り難い」ことの実現を提案します。

株式会社 八神製作所

本社／〒460-8318 名古屋市中区千代田2-16-30 TEL (052) 251-6671 (代)

URL <http://www.yagami.co.jp/>

写真と映像の総合商社

ワキタ

代表取締役 堀江 宏輝

■メディカル事業部 ■OA事業部 ■産業機材事業部 ■家電事業部
■カメラ・時計・宝飾品事業部 ■技術サービス事業部 ■フォトギャラリー

本 社 〒460-0011 名古屋市中区大須4丁目10-68(上前津北) TEL052(251)5221(大代表) FAX052(251)0322
<http://www.kk-wakita.co.jp>

営業所	岡 崎 ☎0564(52)7414	岐 阜 ☎058(275)1911	四日市 ☎0593(53)7446
	津 ☎059(227)5188	長 野 ☎026(228)5161	飯 田 ☎0265(24)5474
	松 本 ☎0263(26)8166	金 沢 ☎076(252)4381	福 井 ☎0776(23)7489
	富 山 ☎076(451)6525		

